

団体交渉議事録（要旨）

1 日時等

令和4年（2022年）3月24日 19時30分から20時00分まで 3-2会議室

2 出席者

- (1) 宝塚市教職員組合 4名 副執行委員長 2名、書記長、執行委員
- (2) 教育委員会事務局 2名 職員課長、職員課副課長

3 議題

令和3年度末人事異動に係る内示について

4 確認事項

- (1) 地公法第55条の団体交渉
- (2) ICレコーダーで記録

5 内容

【書記長】

本日内示を迎え、本組合からの不当人事案件としての申し入れはありません。先日の通告を受けて、不当人事案件として1件申し入れさせていただきましたが、本日の内示までの間に、職員課や校長から働きかけをいただき、その不当人事案件としての申し入れを取り下げることになりました。ありがとうございました。ただ、人事異動に係る課題や要望が6点ありますので、お話しさせていただきます。

まず1点目ですが、校長先生の、こちらからすると不適切な発言ととれるものがありました。「多分異動しないよ。」「多分残ると思うから希望を留任で書いて。」といったような内容です。結果「異動しない」と言われていた職員が異動となり、この職員は異動対象の職員であるので、異動に関しては異論はないものの、話が違うと言った不信感が残ってしまう結果となりました。校長先生に対して、ヒアリングの在り方をもう少し丁寧にやっていただきたいと思いますし、校長先生には発言に責任をもっていただきたいと思います。

2点目は、希望調書の配慮事項に書いていたことが本当に配慮していただけたのか不安を感じている職員がいます。組合としても配慮事項はしっかりと書いてください。ただ、それが必ずしもすべて通るものではないということは伝えていきます。配慮事項の取扱いについても、今後、より納得できる形に検討していただけたらありがたいです。

3点目は、通告から内示までの間、学校長から異動について説明していただいたが、平素からの人間関係もあると思うが、納得できる説明を全くしていただけなかったというケースがありました。職員課からも詳しく指導していただいたようだが、それができない、うまく伝えられないということがあり、本人も異動に関しては仕方

ないと思いつつも、ただ校長先生の説明に納得ができず前向きになれないということになっています。本人が前向きに4月を迎えられるような丁寧な説明をお願いしたいです。

4点目は、[REDACTED]学校に関して、異動が多く4月からの学校体制に不安を感じています。ただ、ここは、ぎりぎりになって個人の事情で異動をお願いしたこともあったのでやむを得ないとは理解しています。職員は、その時は全体像が見えないので、内示を受けて困ったという話になっています。職員の年齢構成や在職年数の点から不安があるので少し様子を見ていただきたい。

5点目、ヒアリングが行われていない学校がありました。職員課としてはヒアリングはどのように考えておられますか。

【職員課副課長】

教職員が異動希望調書を提出したら、学校長は、その調書をもとに内容等においてヒアリングを行い、その内容を詳しく聞き取っていただいた上で職員課との人事ヒアリングに臨むようにという指導を行っています。

【書記長】

一切ヒアリングのない学校があったので、来年度の人事ではそのあたりの周知をお願いします。

6点目、方針外の方を異動させる際の手順について大きな課題だと思っています。対象の方は希望や配慮事項を書いているが、方針外の方は留任だと思っているので希望や配慮事項を書いていない中で一方的に異動を告げられる結果となっています。方針外での異動が発生することは、中学校の教科の関係や学級数減からやむを得ないケースがあるのは理解できるが、そうなった時その教職員にも生活面から配慮してほしいことはあるので、それをどうしていくべきなのかということは来年度の大きな課題として検討していただきたいです。

課題、要望は以上ですが、1つ質問として、内示は校長先生からどうされるものですか？

【職員課長】

内示は教職員に共有してもらったらいいです。ただ手順としては、まずは本人に伝えないといけない。

【職員課副課長】

学校長に対しては、内示書をもとにまず一人ずつ呼んで本人に丁寧に伝えてください。その後臨時講師を一人ずつ呼んで来年度の任用について伝えてください。最後に職員全体に伝えてください。っと言っています。

【書記長】

私もその手順だと思っていますが、今回本人に伝えられず、いきなり全体に発表

された学校がありました。通告で言ったということでしょうが、今通告と内示を分けている以上、それには意味があることなので丁寧にやっていただきたかったです。その確認をもう一度お願いします。

今日はお時間をとっていただき、ありがとうございました。